

■著者紹介

五十嵐 仁 (いがらし じん)

【略 歴】

1951年新潟県生まれ。東京都立大学経済学部卒業。法政大学大学院社会科学研究所博士課程単位取得満期退学。元法政大学教授。大原社会問題研究所名誉研究員。

【専 門】

政治学、戦後政治史、労働問題。

【著 書】

『一目でわかる小選挙区比例代表並立制——新しい選挙制度であなたの一票はどうなる』（労働旬報社、1993年）、『徹底検証 政治改革神話』（労働旬報社、1997年）、『政党政治と労働組合運動——戦後日本の到達点と二十一世紀への課題』（御茶の水書房、1998年）、『概説 現代政治——その動態と理論〔第3版〕』（法律文化社、1999年）、『戦後政治の実像——舞台裏で何が決められたのか』（小学館、2003年）、『現代日本政治——「知力革命」の時代』（八朔社、2004年）、『この目で見てきた世界のレイバー・アーカイヴス——地球一周：労働組合と労働資料館を訪ねる旅』（法律文化社、2004年）、『活憲——「特上の国」づくりをめざして』（續文堂・山吹書店、2005年）、『労働政策』（日本経済評論社、2008年）、『労働再規制——労働組合の構図を読みとく』（筑摩書房、2008年）。共・編著には『労働組合をつくりかえる——労働組合の選択』（労働旬報社、1988年）、『日本史史料5 現代』（岩波書店、1997年）、『日本20世紀館——The 20th century of Japan』（小学館、1999年）、『社会・労働運動大年表〔新版〕』（労働旬報社、1995年）、『現代日本社会論——戦後史から現在を読む30章』（労働旬報社、1996年）、『日本の労働組合100年』（旬報社、1999年）、『日本労働運動資料集成』（旬報社、2005～2007年）、『「戦後革新勢力」の源流——占領前期政治・社会運動史論1945-1948』（大月書店、2007年）、『社会労働大事典』（旬報社、2011年）、『「戦後革新勢力」の奔流——占領後期政治・社会運動史論1948-1950』（大月書店、2011年）、教育科学研究会編／中田康彦・佐貫浩・佐藤広美編著『大阪「教育改革」が問う教育と民主主義』（かもがわ出版、2012年）、『テレビはなぜおかしくなったのか』（高文研、2013年）、『憲法九条の新たな危機に抗して 第二次安倍政権——政治の右傾化と集団的自衛権』（9条の会ブックレット、2013年）、西谷敏・五十嵐仁・和田肇・田端博邦・野田進・萬井隆令・脇田滋・深谷信夫『日本の雇用が危ない——安倍政権『労働規制緩和』批判』（旬報社、2014年）など。

【個人ブログ】

「五十嵐仁の転成仁語」<http://igajin.blog.so-net.ne.jp/> を発信中。